

# スッキリきれいな オフィスにするための 「大掃除のコツ」

新年を気持ちよく迎えるために、1年の締めくくり、オフィスの大掃除を行ないましょう。どんなところに留意し、どんな手順で、どんな道具を使うと効率的でしょうか。つい見落としてしまいがちなポイントとあわせ、オフィスをキレイに魅せる方法を解説します。



住生活ジャーナリスト 藤原千秋

## オフィス汚れの 原因を知る



オフィス環境の善し悪しは、働く人に少なからぬ影響を与え、業務の質も左右します。

「掃除」の目的は見た目をきれ

いにすることのみと捉えられがちですが、それだけではなく、職場であれ自宅であれ、その場にいる人の「健康」と「安全」を支えることにあります。

まずはこの前提をオフィス全体で共有したうえで、作業にあたるようにしたいものです。

## (1) 自宅とオフィスの汚れの違い

オフィスと家（自宅）では基本的に環境が異なり、汚れの種類や傾向にも違いがあります。

家の汚れの多くは、キッチンでの調理に伴う油煙や、浴室等水回りに生えるカビ等の影響によるものです。

一方オフィスは、土足による泥や土埃、インクや紙類から出る細かいホコリが、OA機器の発する静電気と相まって付着する汚れが多いものです。

また、業務の内容により、オフィスごとに特異な汚れも存在します。ただ、どのように汚れが特殊であるかは、いつもそこにいる社員には把握しにくいものです。

もし新入社員やお客様から汚れの指摘があった際には、素直に受け止め、できるだけ気を付けるようにしましょう。オフィス環境の改善に役立ちます。

## (2) オフィスでの衛生への配慮

オフィスは家（自宅）と違い、他人同士が同じ空間で長時間過ごす場所です。

感染症が気になるいまの世の中では、お互いに衛生に配慮することが不可欠です。

特にオフィス内の個人のテリト

リー（デスク、ロッカー等）で異臭や害虫が発生すると、周囲に及ぼす影響が大きくなります。

個人のエリアでも、私物の整理と同時に、適切な清掃が最低限でも年に1回は必須です。

## 大掃除は 段取りが重要



本来オフィスで行なうべきは、業務であり掃除ではありません。たとえ年末であっても、個々の繁忙度合いによっては、「大掃除」にかける時間が取れないことがあります。

そのため、掃除をなるべく「小分け」にして、個々の負担が小さくなるように、掃除の段取りを提案したいところです。

また掃除に対しての意識やスキルも、各人によって異なる点にも留意しましょう。

## (1) 個人のテリトリー

デスク、引出し、ロッカー等といった、個人のテリトリリーの整理と掃除をさせるには、掃除道具と掃除方法の提案、出てきたゴミの適切な処理方法などをわかりやすくする必要があります。

基本的には「不要な廃棄物の抽

出・収集」段階、「吸引・清拭」段階、「再整理・再収納」段階に作業を切り分け、全体の廃棄物収集日程から逆算したスケジュールを周知し、まず私物整理の実行を促すところから始めましょう。

場合によっては、すでに異臭や害虫の発生源になっていたたり、個人の力では清掃できないほどの状況になっていることもあります。

その場合は全体に及ぼす影響を考慮し、周囲が援助することも検討しなければなりません。

## (2) パブリックスペース

個人のエリアではない応接室、会議室、給湯室、トイレ・洗面所、倉庫、事務所、通路、エントランス等といったオフィス内共有部の掃除については、業者に依頼していない場合には、できるだけその場所の掃除担当者に裁量を与えて清掃するといいいでしょう。

ただ、高所に関わる清掃、エアコン等精密機器に関する清掃については、基本的に専門業者に委託して清掃を行ないましょう。

不意のめまいなどによる高所からの落下事故は、生死に関わりますし（数十センチの高さからでも危険です）、エアコン等は無手勝流の掃除では、破損した場合の代

償が大きいためです。

## ポイント別掃除方法と便利な道具



### (1) デスク

デスク全体は、住居用中性洗剤などを吹き付けたマイクロファイバークロス（マイクロファイバーと呼ばれる極細の化学繊維で織られた布）で拭き取ると、普通の汚れならスッキリと落ちます（写真1）。

時間が経ってしまったペン跡やテープの残りなどは、消毒用アルコールや、アルコールが主成分の



写真1  
デスクはマイクロファイバークロスに洗剤を吹きつけて拭く

ハンドサニタイザー（携帯用消毒ジェル）、アルコールジェルなどを塗布してから拭くと簡単にきれいになります。

### (2) チェア

布張りのチェアは、ホコリや汗などで汚れているケースが多いもの。チェア座面の微細なホコリは、まずハンディクリーナーや掃除機でできるだけ吸引しましょう。その後、衣類用の「おしやれ着用中性洗剤」をぬるま湯に溶かし、薄手のタオルを浸してよく絞ったもので座面、背もたれなどを「拭き洗い」していきます。

汚れのひどい部分には、このタオルを乗せて10分程度置き、汚れを浮かせたところで、叩くようにして汚れをタオルに移します。その後、よく洗ったタオルですすぎ拭きをし、風通しのよい場所ですぐ乾燥させます。

この拭き洗いを簡便に行なう市販の道具もあります。数が多い場合などには、活用するのもよいでしょう。

私物の座布団やクッションなども年に一度は洗濯、乾燥させるか、買い替えを検討しましょう。

### (3) 棚

書類等の棚に残る微細なホコリ

汚れも、住居用中性洗剤を吹き付けたマイクロファイバークロスで拭き取ります。

棚の奥に入り込んでしまった汚れが気になるときは、市販の掃除用のヘラか、歯ブラシなどで掻き取ります。

### (4) 引出し、ロッカー

引出しには髪の毛や消しゴムのカス、ホコリが落ちて入り込みやすく、知らず識らずのうちに溜まって汚れます。

こうした汚れはハンディクリーナーや掃除機で吸引し、その後、消毒用アルコールを吹き付けたマイクロファイバークロスで拭き掃除します。

ロッカーには、上着等の衣類からの繊維ホコリや、服に付着した花粉、土埃、食べカスなどの汚れが落ちて溜まっていることもあります。

こうした繊維ホコリや食べカスは、異臭の原因になりやすいだけでなく、ダニやゴキブリといった害虫のエサになるため注意が必要です。

食べカス、ホコリなどはハンディクリーナーで吸い取り、底面のほか側面、棚を消毒用アルコールを吹き付けたマイクロファイバー

クロスで拭き、掃除と除菌とを同時に進めましょう。

## (5) プラスチック製品

プラスチック製品に付着した静電気によるホコリ汚れも、基本的には住居用中性洗剤を吹き付けたマイクロファイバークロスで拭き取ります。

細部については、マイクロファイバークロスを巻きつけたヘラや綿棒を使用すると、ホコリを掻き取りやすく便利です。

ただ、プラスチックの黄ばみ(黄変)汚れについては紫外線によるものが多く、こういった化学反応による変色は掃除ではきれいにはできません。買換えも検討しましょう。

## (6) ソファ

基本的には、(2)のチェアと同じように掃除しましょう。

布ソファの汚れが激しい場合は、洗剤を吹き付けたのち、温水やスチームをかけながら汚れを吸い取る「リンサー」という電化製品を導入したり、リンサーで掃除を行なう業者に委託することを検討しましょう。

## (7) 給湯室周り

### ① 冷蔵庫

私物の整理を促すために、「賞

味期限切れ、所有者不明の飲食物は〇月〇日に廃棄します」と前もって貼紙等で告知し、不要物を処理するようにしましょう(写真2)。

棚板やポケット、引出し等のうち、取り外せるものはすべて取り外して、食器用中性洗剤と食器洗い用スポンジで洗い、乾かしてから元に戻します。

取り外せない部分は、消毒用エタノールを含ませたキッチンペーパーで拭取り清掃します。

### ② シンク(流し台)

シンクは、食器用中性洗剤を染み込ませたメラミンスポンジ(「メラミンフォーム」と呼ばれる細かい網目状の構造をもつ硬い材質でできているスポンジ)でクルクル

と円を描くように擦り洗いします。光沢のあるシンクの場合、傷が付くこともありますので、目立たない場所で試してから使いましょう(写真3)。

ぬめりやニオイのひどい三角コーナー、排水口のゴミ受けバスケット等は、水で薄めたキッチン漂白剤と一緒にビニール袋に漬けて、30分から1時間放置します。

汚れが浮いてきたら取り出し、古い歯ブラシなどで擦って汚れを落とします。

### ③ 電子レンジ

5%程度の濃度にした重曹水もしくはセスキ炭酸ソーダ水に浸した古タオルを、軽く絞って電子レンジの庫内に入れ、600Wで3分程度温めます。

庫内に蒸気が充満したら、そのまま10分程度放置し、タオルが冷めた頃合いに、ゴム手袋をして庫内を拭き上げます。

タオルが汚れたら水ですすぎ、最後は固く絞ったタオルで汚れを拭き取ります。

### ④ ゴミ箱周り

使い捨ての掃除用ウェットシート(中性もしくは弱アルカリ性の洗剤が染み込ませてあるもの)で内部、外部とも汚れを拭き取ります。

ゴミブリの出る給湯室の場合は、ゴミ箱の周囲にゴミブリ毒餌剤を多めに撒いておきます。

## (8) トイレ、洗面所

男性用便器では便器の後部縁部分、女性用便器では先端部縁部分に尿石が溜まり、異臭の原因になります。

普段できない尿石取りには、トイレ用酸性洗剤を使用します。まずトイレトーパーを縁裏に貼り付け、そこにトイレ用酸性洗剤を塗布して湿布状にし、20〜30分経ったら水を流します。

縁裏まで入り込むトイレ掃除用ブラシを使用する



冷蔵庫内の私物を整理する



シンク汚れはメラミンスポンジで落とす



か、ゴム手袋をして2000番程度の耐水サンドペーパーで擦り取ります。

トイレは、便器のみならず床、壁にも汚れが飛散して、異臭の元になっています。トイレ用中性洗剤を壁、床、便器外周にスプレーし、多めのトイレットペーパーもしくは古タオルで拭き取ります。

拭き取ったペーパーなどは、そのまま流してしまうと排水管の詰まりの原因となるため、燃えるゴミとして捨てましょう。

ドア、ドアノブ、フラッシュバルブ（水を流すレバー）、洗面台、洗面ボウルは、消毒用エタノールをスプレーし、キッチンペーパーなどで拭き取ります。

菌ブラシ等を収納する個人用の洗面所ロッカーは、ロッカー内部も消毒用エタノールでしっかり清拭するようにしましょう。

## (9) ガラス窓など

住居用中性洗剤をスプレーし、マイクロファイバークロスで拭き取りながら磨き上げます。

ブラインドの汚れについては、手袋状の掃除用マイクロファイバークロスを用いると、指で挟みながら羽根の両面を掃除できるので便利です。

## 見落としやすい 掃除の盲点



### (1) 来客のみ触れるもの・場所

お客様が社外からオフィスに至る順路、またオフィス内で案内する場所などは、「内部」の人間が日常的に接する箇所ではないため、盲点になりがちです。

大掃除のような機会に、お客様の立場になって確認してみましょう。お客様の視線が自然にいく動線の壁や台、エレベーターの行き先ボタンなど細かな点にも注意しましょう。

### (2) 床

注意して見ると、かなり汚れているのがオフィスの床です。

近年の、ネットワーク配線を床下に敷き込んだ二重床（OAフロア）は基本的に水気を嫌いますので、掃除機を使った掃除が主になります。

掃除機では取れないインクやトナー、飲み物などによるシミの類は、見慣れてしまうことで汚れとして認識しにくくなり、完全に盲点となってしまうことが多々あります。応急処置ではありますが、重曹などのアルカリ性の水溶液類

をスプレーして湿らせ、古タオル等で拭き取るのが効果的です。

塩ビ系の床の場合も、同様にスプレーした後にメラミンスポンジで擦り落とすことで、シミ汚れの多くを薄くすることが出来ます。

床面積が広いオフィスでは、定期的に床清掃を専門業者に依頼したほうが衛生的です。

## オフィスをきれいにさせる きれいを保つコツ



### (1) 床、デスク、壁、空間を スツキリと

「きれい」なオフィスであるためには、なにより目に見えるシミ、キズ、テープやシールの剥がし跡のような、気になる「ノイズ」を極力消し、その状態を維持することが大切です。

「ノイズ」には、業務と無関係なあらゆる臭気も含まれます。可能な限り、オフィス内は無臭状態になるよう、過剰な芳香剤や柔軟剤の使用は避け、臭気の出るゴミは都度密封して処理するようにしましょう。

室内の温度、湿度を適切に調節することも、異臭を発生させないために大切です。適切な換気、空

調、また適宜空調設備のメンテナンスを行ないましょう。

文字どおりの「ノイズ」である騒音にも留意しましょう。

「ノイズ」の除去は、オフィスで働く人の「健康」と「安全」に直接関係します。

### (2) 優先すべきは社員の安全

一方、たとえばどんなに整頓されてきれいなオフィスでも、磨きすぎて床が滑りやすかったり、地震で揺れた際に倒れそうな棚であったりと、安全性を度外視した状況では本末転倒です。

たとえば、多少階段の掃除がしにくくなっても、滑り止めを貼ることは、安全面においてはとても重要なことです。逆にオフィス内をキレイに見せるため、非常口の外に障害物を積むのは大変危険なことです。

「きれい」にこだわるだけでなく、安全面の見直しにも配慮しましょう。



働く人が代わったり年を取ったりすれば、オフィスの状況も変わります。「大掃除」のような年中行事をひとつのきっかけに、働く場所全体の見直しを図ってみてはいかがでしょうか。